



「林間広場」での清掃作業の様子

約六十年来の旧友で、夫婦連れで一緒に旅行へ出掛けたりするほど仲良しの皆さんですが、作業中は真剣そのものの。グラウンドの周囲の樹木や芝生を手分けして、黙々と清掃作業をこなします。「林間広場」では、ホッケーの全国大会など大きな大会も数多く開

継続することが目標

は、「春の全国交通安全運動」にも参加。交通安全を祈願した「ひょうたん」百個を無料で配布し、交通安全を呼び掛けました。会員手作りの「ひょうたん」は、あつという間になくなるほど好評だったそうです。主な活動は、多目的グラウンドやテニスコートを備えた町の施設「林間広場」の美化活動。年に七回程度、杉林に囲まれた広大な敷地の除草や植木の剪定、落ち葉の収集などを行います。また、昨年四月には「春の全国交通安全運動」にも参加。交通安全を祈願した「ひょうたん」百個を無料で配布し、交通安全を呼び掛けました。会員手作りの「ひょうたん」は、あつという間になくなるほど好評だったそうです。

旧制中学校時代の同級生で結成

会長の木下篤さんをはじめ、地元旧制宮原中学校の同級生十五人で構成される阿蘇郡小国町の「友寿会」。定年から数年たち、「町に恩返しをしたい」と考えていた木下会長が同級生仲間と相談し、昨年二月に結成されました。

最終回 ふるさと小国町へ恩返し「友寿会(ゆうじゅかい)」

広がれ！ ボランティアの輪



「友寿会」の皆さん

催されます。全国各地から訪れるお客さまに気持ち良く利用してもらうように、いつも美しくしていきたい」と木下会長。作業の様子を見て、手伝ってくれる住民の方もいるそうです。「このように、少しずつボランティアの輪が広がってくればうれしいですね」。

今年、古希(七十歳)を迎える会員の皆さん。「昨年、熊本で開かれた『全国ボランティアフェスティバル』が、いい刺激になりました。無理をせずに、活動を続けていきたいです。今後は、地域の子どもたちを守る活動などにも積極的に参加し、人や地域との触れ合いを大切にしていきたいと思えます」。地域への感謝の気持ちと愛情がいっぱいの「友寿会」の皆さんの活動は、これからもまちの元気を支えています。

全五回にわたり、県内のボランティア活動について紹介してきました。昨年十月に開催された「第十四回全国ボランティアフェスティバル火の国くまもと」をきっかけに、県内各地でボランティアの輪が着実に広がりを見せています。今後、熊本県版のボランティアフェスティバルも開催されることになっており、皆さんの熱い気持ちは、これからも引き継がれていきます。



みんなで進めよう！ 犯罪の起きにくい安全安心まちづくり



第1回くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民会議

熊本県の平成17年の犯罪件数は、分かっているだけでも22,191件。わたしたちの身の回りでは、自転車の盗難やひったくりなどの街頭犯罪、子どもやお年寄りを巻き込んだ犯罪が数多く発生して

3月に、全国で初めて、社団法人熊本県老人クラブ連合会、県、県警察本部、県教育庁の4者で「子どもの安全確保に関する協定」を結び、連携して子どもの安全確保に取り組んでいます。皆さんも地域での自主的な活動など、できることから始めましょう。

県内各地域では、すでに登下校時の子どもの見守りや防犯パトロールなどの活動の輪が広がっています。「県からのたより」では、こうした子どもたちをはじめ、県民皆さんの安全を守る取り組みを次号(6月号)から紹介していきます。

犯罪を防ぐには、一人一人が防犯意識を高め、地域の連帯感を強めることが大切です。

県では、昨年7月に「熊本県犯罪の起きにくい安全安心まちづくり条例」を施行し、今年1月には、県民の皆さんとのパートナーシップの下、地域活動団体をはじめとする団体や行政などからなる「くまもと犯罪の起きにくいまちづくり県民会議」を設立。3月には「県民大会」を開催するなど、誰もが安全で安心して暮らすことができる住みよいまちづくりを県民総参加で進めています。

とりわけ、全国で子どもたちをめぐる事件が相次いで起こる中、

